

令和6年 11月 27日

[資料提供先] 福山市政記者クラブ、府中市役所記者クラブ

芦田川堤防点検を実施します

～次の出水に備えて、地域の安全のために～

国土交通省福山河川国道事務所では、堤防や護岸等の河川管理施設及び河道の点検を実施しています。

点検には、職員に加えて防災エキスパート(※)にも参加いただき実施します。

なお、点検により異常を発見した場合については、補修や注意喚起を速やかに行うとともに、河川管理施設の点検結果として評価し今後の堤防の維持管理に活用していきます。

※防災エキスパートとは、風水害や地震など大規模災害において、公共土木施設等の被災情報の収集・復旧に向けての支援活動をボランティアして頂く専門知識を有する人材。

■ 日時

令和6年 12月2日(月) ～ 令和6年12月18日(水)【予定】

※8時半～13時頃

■ 箇所

芦田川及び高屋川の直轄管理区間

■ 参加者

福山河川国道事務所の職員延べ約80人

防災エキスパート約8人

合計88名【予定】

※取材につきましては、

12月 2日(月) 9時半頃、近田橋付近(下記)で対応いたします。

お問い合わせ先

国土交通省中国地方整備局 福山河川国道事務所

副所長(河川)

おおたまなぶ
大田 学

[担当] 河川管理課長

いとうともあき
伊東 知明

電話:084-923-2511(ダイヤルイン)

ホームページ:<https://www.cgr.mlit.go.jp/fukuyama/>

スマホなどでQRコードを読み込むと

上記のホームページにつながります。



芦田川堤防点検について

点検において異常を発見した場合や、河川利用時に危険と思われる箇所や損傷等を発見した場合は、補修や注意喚起を行うと共に、点検結果は河川管理資料としてとりまとめ、今後の堤防の維持管理に活用していきます。

なお、今回の点検ではタブレット端末を使い、河川維持管理業務を支援するシステム「RiMaDIS (リマディス)」を活用した点検も合わせて実施します。

RiMaDIS とは

河川維持管理情報の

- ①効率的な収集と確実な蓄積
- ②知見の効果的な集積
- ③円滑な情報共有

を目的としたシステムです。

システムをインストールしたタブレットを用いることで過去の記録確認や新規記録の共有が容易となり、効率的な点検を行うことができます。

RiMaDIS を用いた点検状況



過去実施状況写真



現地取材場所

芦田川↓

近田橋

